

2021年度事業報告

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

2021年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受け、1年延期となった東京2020パラリンピック（以下「東京2020」という。）が安全安心最優先という方針の下、無観客・バブル内での行動という方針で開催されることとなった。COVID-19は、ワクチン開発が進んだというものの、感染状況は収まらず、2020年度から引き続き大きな感染の波が起こったほか、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるなど予断を許さない状況であった。

このような中、十分な感染対策を行いながら8月24日開会の東京2020に向けて準備を進めた。結果、国内での大会や事前合宿など多くの関係者の支援により東京2020において、金2、銀7、銅3の計12個のメダルを獲得、出場選手19名中18名が入賞を果たすことができた。このメダル数は日本選手競技団体別でトップの数字であり、日本選手団への貢献とともに大きな成果をあげた。

年度の後半においては、新たな変異株などの影響などもあったが、いわゆる「新しい生活様式」に基づいて、安全に配慮をしながら第38回日本パラ水泳選手権大会を開催したほか、マデイラ2022WP S世界選手権、杭州2022アジアパラ競技大会、パリ2024パラリンピックに向けて、新たに2022年強化育成選手制度を見直すとともに、2022春季記録会の開催や海外へのクラス分けに選手を派遣するなど取り組みを進めた。

一方、地域連盟等においては、大会開催やその前提としての、練習場所の確保などに困難を極め、大会を中止せざる得なくなった地域もあった。その結果、本連盟の会員数の大幅な減少につながった。また、2月24日に起こったロシアのウクライナ侵略による協賛企業など経済の見通し悪化や東京2020の終了に伴う協賛の終了、金額の減額など厳しい状況が起こった。

まさに、予測や見通しが立てにくい中で取り組みを進めた1年であった。

結果、実施した2021年の主な事業については、以下のとおりである。

本年度も2017年度事業で策定した本連盟のビジョン「パラ水泳PI/VI中・長期計画(2017～2024)——2020レガシーと新たな共生社会からの飛躍を目指して——」のアクションプランを基にでき得る事業を進めた。

アクションプランにおける「1. トビウオパラジャパンPI/VI強化・育成・発掘」の分野では、強化戦略プランに基づいて事業を実施するとともに、パリ2024、ロサンゼルス2028に向けての新たな強化戦略プランの策定を行った。

東京2020に向けての強化戦略プランに基づいて、目標としたメダリスト6人、金4・銀4・銅4の計12のメダル獲得に向けて、日本代表選手の選考、合宿などを行った。メダルの色は異なったものの、目標の12個のメダルは獲得した。日本での開催でもあることから、選手の個人コーチなどにも合宿に参加を要請し合計8回の合宿を行い、成果に結びつけた。特に、日本国内で唯一の高地合宿地である長野県湯ノ丸高原屋内プールでの合宿は、従来であれば、海外施設を利用せざるを得なかったが、国内で実施できる環境を確保できたこ

とも成果の一因である。

東京 2020 終了後は、次期パラリンピックに向けて新たな選手の育成を目指し、育成選手の登竜門であるバーレーン 2021 アジアユースへ向けての取り組みを行い、選手 12 名（男子 7 名、女子 5 名）を派遣し、金 10、銀 3、銅 2 の計 15 個のメダルを獲得し成果をあげた。選手の発掘などにおいては、地域での発掘事業は COVID-19 の影響で中止を余儀なくされたが、かろうじて J-STAR 事業は展開することができ、新たな選手養成への希望をつないだ。

新たな強化戦略プラン策定後は、2022 年強化育成選手の基準見直しと選考を行い 18 歳未満の選手 15 名を含む 31 名（強化指定選手 18 名、育成選手 13 名）を指定した。また、マデイラ 2022WPS 世界選手権大会等に向けて、選手のクラス確定のための海外派遣など、取り組みを進めた。

「2 指導者」、「3 競技役員」養成の分野では、昨年度実施できなかった指導員の資格取得研修を実施した。中・上級については、オンラインで実施した。基礎の指導者研修は神戸しあわせの村で実施し、STEP 1 では 23 人、STEP 2 では 20 人が受講した。特に、今年度は福岡県において指導員の養成講習会を委託事業で実施するなど、新たな試みが行われた。今後は、こういった県レベルでの取り組みも進めながら指導者の数を増やしていく。

クラス分けや審判員などの養成研修は実施できなかったものの、東京 2020 では、それまでに養成した WPS レベル 2 の審判員約 40 人が大会運営に携わった。その養成した審判員については、審判員資格登録とともに連盟技術支援会員登録を呼びかけ約半数の審判員が応じた。東京 2020 のレガシーのひとつとして、各都道府県レベルでの大会などにパラスイマーが参加する際の泳法判理解につなげると期待している。

「4 競技大会」については、基本的には無観客の大会として、感染に十分注意を図りながら開催にこぎつけた。地域大会においては、中止せざる得ない地域もあったが、特別企画の通信記録会を開催することで、個人でも記録を残していく努力を行った。例年行っている WPS 公認大会については、日本パラリンピック委員会との共催であるジャパンパラ大会を東京 2020 の日本代表選考戦として実施したほか、神戸市民選手権は育成選手層を中心に参加し、第 38 回日本パラ水泳選手権大会は、東京 2020 の成果を報告する大会として実施した。また、2022 年 3 月に行われた春季記録会については、2022 年 6 月マデイラ 2022 世界選手権の日本代表選考戦として行われた。

「5 普及・発掘、会員増」については、協力団体である地域連盟への助成などを行うとともに、通信記録会の提案など何とか会員の減少を食い止める努力を行ったが、昨年度会員数 617 人から 554 人と減少傾向は収まらなかった。このため、退会した会員へのアンケートなどを実施し、その要因を探るとともに、今後の方策を検討した。

「6 組織基盤」としては、引き続きスポーツ団体ガバナンスコード遵守についての取り組みを進め、10 月に遵守事項の自己説明を公表した。東京 2020 が終了することなどに伴い組織、財政面での大きな変化が起こることを予測して、人材の確保とともに業務の効率化や費用の見直しに努めた。その結果、税引き前の当期一般正味財産増減額は 26,066,481 円となった。

<主な取り組み>

I 競技会の開催及び支援・後援事業

1. 地域連盟による大会を開催支援

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で地域大会が中止となったところもあるが、時期をずらして実施するなど努力を重ねた。

2021年7月11日（日） 第31回東北身体障がい者選手権水泳競技大会6月6日
日を中止し、東北パラ水泳選手権として開催

2022年1月9日（日） 第35回関東身体障がい者水泳選手権大会9月9日を延期実施

2021年8月29日（日） 第27回中部障がい水泳選手権大会

2021年10月3日（日） 第32回近畿身体障がい者水泳選手権大会、6月20日を延期したが中止

2021年6月6日（日） 第27回中国四国身体障がい者水泳選手権大会（中止）

2021年6月6日（日） 第32回九州障がい者水泳選手権大会（中止）

2. 2021 ジャパンパラ水泳競技大会の共催

2021年5月21日～23日 横浜国際水泳場で東京2020パラリンピック水泳競技日本代表選考戦として行われた。

3. 第38回日本パラ水泳選手権大会の開催等

2021年11月20日（土）～21日（日）千葉国際水泳場で行われた。無観客での実施であったが、東京2020パラリンピックメダリスト等のお披露目を実施した。

参加選手：身体251名、知的84名、聴覚7名、計342名

アジア新記録1、日本新記録11、大会記録45の記録が更新された。

また、日本選手権大会の開催地確保への取り組みを推進し、次回の第39回大会を長野市の「長野運動公園総合運動場総合市民プール（アクアウイング）」で開催することに決定した。

※本事業に対して独立行政法人日本スポーツ振興センターから5,775,000円の助成金を受けた。

4. 2022 パラ水泳春季記録会兼マデイラ 2022WPS 世界選手権日本代表選手選考戦の開催

2022年3月5日（土）～6日（日）の2日間

クラス分けは3月4日（金）に、静岡県立水泳場で行われた

参加選手：身体80名、知的121名、聴覚11名 計212名

選考戦日本代表 身体11名、知的5名、計16名が選考された。

5. 通信記録会の実施

「東京2020パラリンピック」日本代表チーム応援企画として、また、地域でのパラ水泳活性化のため、通信記録会を実施した。日本代表選手の泳いだ記録に近い記録を通信記録会に出した方にプレゼントを提供するというもので、エントリー数が467件あり、マルチポイント方式で順位を決め、表彰を行った。

II 競技力向上事業

1. 日本代表・強化・育成選手等合宿

(1) 東京 2020 パラ日本代表選手等合宿

①東京パラ日本代表推薦候補合宿

2021年4月2日(金)～4月4日(日) ナショナルトレーニングセンター・イースト(以下「NTC-E」という。)

②第24回日本知的障害者水泳選手権大会「東京2020パラ推薦選手派遣」

2021年6月5日(土)～6月6日(日) 横浜国際プール

③東京パラ代表合宿①

2021年7月18日(日)～7月22日(木) 長野アクアウイング

④東京パラ代表合宿②

2021年7月22日(木)～7月30日(金) 湯ノ丸高原スポーツ交流施設

⑤東京パラ代表合宿③

2021年7月30日(金)～8月2日(月) 長野アクアウイング

⑥東京パラ代表合宿④

2021年8月2日(月)～8月14日(土) 湯ノ丸高原スポーツ交流施設

⑦東京パラ代表合宿⑤

2021年8月10日(火)～8月20日(金) NTC-E

⑧東京パラ代表合宿⑥

2021年8月21日(土)～9月5日(日) NTC-E

(2) 強化指定選手合宿

強化指定選手合宿①

2021年12月25日(土)～12月30日(木) フェニックス・シーガイアリゾート

(3) バーレーン 2021 アジアユース日本代表合宿

①アジアユースパラ代表合宿①

2021年10月15日(金)～10月17日(日) NTC-E

②アジアユースパラ代表合宿②

2021年11月17日(水)～11月21日(日) NTC-E

(4) 育成指定選手合宿

①育成選手合宿①

2021年6月5日(土)～6月6日(日) 神戸ポートアイランドスポーツセンター

②育成選手合宿②

2021年8月13日(金)～8月15日(日) スイムピア奈良

(5) 発掘選手

○発掘キャンプ

昨年度は、西田東作スポーツ振興基金の障がい者スポーツ支援事業の助成を受け、「全国ジュニアタレントトレーニングキャンプ事業」として、東・西・南のエリアに所属する発掘選手等を対象に、エリアごとのトレーニングキャンプを実施したが、今年度は、コロナウイルス感染症拡大と助成金を春季記録会に充当したため、発掘キャンプをすべて中止した。

○奈良県パラリンピックタレント発掘・育成練習会

昨年同様、奈良県から委託を受けた奈良県スポーツ協会と関西広域連合の両者から委託を受け、所管するエリア内の障がい者スポーツの振興を図ることを目的とした事業を実施するための準備をすすめてきたが、直前になってもコロナ感染は収束せず、奈良県が1月末に中止を決定した。

<パラリンピックタレント発掘・育成練習会>

2022年2月26日(土) スイムピア奈良 参加者20名

○J-S-T-A-Rプロジェクト

4期生 日本パラスポーツ協会受託事業

ア. 拠点県合宿

対象者3名 7月～翌1月まで合計4回 スイムピア奈良、天理大学プール

イ. 巡回指導・居住県指導による日常練習環境準備

対象者3名 7月～翌2月まで合計72回

○健常大会への参加、普及、啓発

ア. 2021B&G全国ジュニア水泳競技大会(記録の公認)

オリンピックでプール確保が困難なため中止 辰巳国際水泳場 発掘選手参加予定

イ. 第42回JSCAブロック対抗水泳競技大会(記録の公認)

2021年10月9日(土) 長野アクアウイング 育成選手等参加予定
コロナ感染拡大で中止

2. 海外大会等への派遣

(1) JPC派遣

バーレーン 2021 アジアユースパラ競技大会

2021年12月2日(木):開会式～6日(火):閉会式 12月6日(火) 10日間
水泳競技結果 派遣12名(男子7名、女子5名) 金10、銀3、銅2 計15

(2) 連盟派遣

①シェフィールドワールドシリーズ大会派遣

2021年4月3日(土)～4月14日(水) イギリス・シェフィールド

②ルイスビルWPSワールドシリーズ大会派遣

2021年4月9日(金)～4月20日(火) アメリカ・ルイスビル

③ベルリンWPSワールドシリーズ大会派遣

2021年6月12日(土)～6月22日(火) ドイツ・ベルリン

④リニャーノ・サッピアドーロ2022WPSワールドシリーズ大会派遣

2022年3月8日(火)～3月15日(火) イタリア・リニャーノ・サッピアドーロ

⑤パリ2024パラ事前合宿候補地視察

2022年3月14日(月)～3月20日(日) フランス・パリ

⑥ベルリン2022WPSワールドシリーズ大会派遣

2022年3月24日(木)～3月31日(木) ドイツ・ベルリン

3. 大会サポート等

- ①2021 ジャパンパラ水泳競技大会東京 2020 パラ日本代表推薦候補選手大会参加
2021年5月20日(木)～5月23日(日) 横浜国際プール
- ②2021 ジャパンパラ水泳競技大会東京 2020 パラ日本代表推薦候補選手レース分析サポート
2021年5月20日(木)～5月23日(日) 横浜国際プール
- ③第38回日本パラ水泳選手権大会強化指定選手支援
2021年11月19日(金)～11月21日(日) 千葉県国際総合水泳場
- ④第38回日本パラ水泳選手権大会強化指定選手レース分析サポート参加
2021年11月19日(金)～11月21日(日) 千葉県国際総合水泳場
- ⑤第5回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会強化指定選手サポート
2022年1月9日(日)～1月10日(月) 千葉県国際総合水泳場
- ⑥2022 パラ水泳春季記録会強化指定選手サポート
2022年3月4日(金)～3月6日(日) 静岡県立水泳場

※上記等1～3の事業に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センターの競技力向上事業として64,035,000円の助成金を受けた。

4. 強化指定選手制度・育成指定選手制度の運用

この制度は暦年で指定を行っている。

強化指定選手18人、育成選手13人、合計31人(2022年1月1日現在)を指定
WPSライセンス登録者数65人(2022年1月1日現在)

- 強化選手——2022年1月23日(日)強化指定、所属関係者、
オンラインによる説明会・研修会の実施、2022強化選手事業計画について、NTCの利用、アンチ・ドーピング、自己競技力向上プランなど
- 育成選手——2021年1月23日(日)育成指定、所属関係者
オンラインによる説明会・研修会の実施、育成選手制度の改正、育成選手事業計画、トレーニングシート、自己競技力向上プランなど

5. 次世代ターゲットスポーツ育成事業

新たに日本スポーツ振興センター事業として採択され、2024年のパリパラリンピックにおいてメダル獲得を目指せる若年層8選手を指定し、強化育成に努めた。

(1) コーチ・トレーナー派遣及び選手の所属訪問

年間を通して支援を必要としている選手に近隣で活動するコーチ、トレーナーを派遣し個別指導や選手の相談に対応する。また、3～4か月に1回ターゲット選手の所属に訪問し、練習環境を確認するとともに、所属コーチとコミュニケーションを図り連携を強めている。

(2) 栄養指導の実施(管理栄養士の派遣)

若手選手育成の根幹となる健全な体づくりのため、(一社)日本スポーツ栄養協会と年間委託契約を結び、専属スタッフの管理の下適切な指導を行っている。

(3) 所属との連携合宿の実施

2021年10月26日(火)～31日(日)	NTC-E
2021年11月23日(火)～28日(日)	NTC-E
2022年1月20日(木)～22日(土)	NTC-E

2022年3月22日(火)～25日(金) 近畿大学

(4) オンライン勉強会の実施及び次世代通信の発行

選手、スタッフ、強化担当スタッフを交えた勉強会を開催した。また、月に1回次世代通信を発行している。内容としては選手の状況、所属の練習メニュー、次世代事業からの情報をまとめて関係者に周知している。

(5) 次世代主要スタッフ同士の定期会議及びアドバイザーを含めた推進会議の実施

1週間に1回ラインを使ったミーティングを行い選手の現状の課題、目標について確認する。また、年に3回専門アドバイザーを含めた推進会議をオンラインにて行っている。

※上記5の事業に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センターの次世代ターゲットスポーツ育成事業として16,226,351円の助成金を受けた。

III 指導者研修会の開催と普及

1. JPC競技別指導者助成事業公認障がい者水泳指導員資格修得講習会初級 Step 1

2022年1月15日(土)/JPSF自主事業公認障がい者水泳指導員資格修得講習会初級 Step2 2022年1月16日(日) 神戸市しあわせの村にて実施した。更新者はオンデマンドにて実施した。

STEP1 受講 23名 STEP2 受講 20名 更新研修受講 8名

2. 公認中級障がい者水泳指導員資格養成はリモートによる研修とレポートによる審査を実施した。

3. 2022年度公認指導者登録予定数(新規・更新・技術支援会員移行措置含む) 初級40名、中級27名、上級4名、コーチ16名、合計87名

4. 福岡県障がい者水泳指導員養成講習会

福岡県障がい者アスリート強化拠点事業の一環として、福岡県・福岡県障がい者スポーツ協会から委託を受け、「福岡県障がい者水泳指導員養成講習会」を実施した。

2021年11月27日～28日 福岡県立総合プール 参加者 14名

IV 法人運営事業

1. インターネットを使った広報事業など

コロナ禍の中、無観客大会などで来場応援が叶わないところ、第38回日本パラ水泳選手権では、現役選手による競技解説を全競技のYouTube配信などで行い、パラ選手の魅力を発信した。

2. 組織体制の強化・充実

スポンサー・パートナー協賛企業8社

コンプライアンスオフィサーの養成、ガバナンスコードへの対応構築を推進

(1) 2021年度競技会参加会員数

女子176人、男子372人、合計554人

(2) 技術支援会員

2022年3月31日現在、87人が登録

(3) 正会員6名

(4) 役員（2022年3月31日現在）

理事 16名（うち理事長1名、常務理事4名）

(5) 事務局（2022年3月31日現在）

本部事務所（委託・出向含む） 5名

東京事務所（委託・出向含む） 3名

(6) 日本財団パラリンピックサポートセンター事業

人的支援、組織運営・管理基盤整備のガバナンス強化、広報マーケティング事業等に、16,430,000円の助成を受けた。

3. 総会・理事会・委員会等

(1) 第1回理事会

2021年6月19日（土） 神戸・三宮研修センター会議室

<決議事項>

第1号議案 2020年度事業報告について

第2号議案 2020年度決算報告について

第3号議案 基金の返還及び代替基金への積み立てについて

第4号議案 定款の一部変更について

第5号議案 事務分掌規程の一部改正について

第6号議案 任期満了に伴う理事16名の選任について

第7号議案 任期満了に伴う監事3名の選任について

第8号議案 株式会社パラファーストの株式取得について

第9号議案 2021年度定時総会の招集について

<報告事項>

報告1 2021年度事業計画及び予算の進捗状況について

報告2 東京2020に向けての取組みについて

報告3 2020年度スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性
審査の審査結果及び2021年度の対応について

報告4 経営基盤の強化・安定に向けた取組に関する確認シートについて

報告5 2021年度コンプライアンス教育実施計画について

(2) 定時総会

2021年6月27日（日） 神戸・三宮研修センター会議室

<決議事項>

第1号議案 2020年度事業報告及び決算報告について

第2号議案 基金の返還及び代替基金への積み立てについて

第3号議案 定款の一部変更について

第4号議案 任期満了に伴う理事16名の選任について

第5号議案 任期満了に伴う監事3名の選任について

(3) 第2回理事会

2021年6月27日（日） 本連盟神戸事務所会議室

<決議事項>

① 理事長（代表理事）の選定について

- ② 常務理事の選定について
- ③ 理事長を補佐する常務理事の順位について
- ④ 特別職である会長及び参与の推挙について
- ⑤ 事務分掌規程の一部改正について
- ⑥ 水泳ファミリー委員会規程の制定について
- ⑦ 諸委員会の委員長及び委員について

(4) 第3回理事会

2022年2月12日（土）神戸センタープラザ西館会議室

<決議事項>

- 第1号議案 特別職のうち会長、副会長及び参与の理事会への出席について
- 第2号議案 2021年度収支補正予算案（決算見直し含む。）
- 第3号議案 2022年度事業計画案
- 第4号議案 2022年度収支予算案
- 第5号議案 アンチ・ドーピング規程の全部改正について
- 第6号議案 技術支援会員及び技術委員会の運営の詳細に関する規程の一部改正について
- 第7号議案 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の名称変更等に伴う関係規定等の整備に関する規程の制定について
- 第8号議案 定款の一部変更について
- 第9号議案 女性アスリート等支援委員会委員の補充選任について
- 第10号議案 理事長による規程の一部改正の専決処分について
- 第11号議案 2021年度臨時総会の招集について

<報告事項>

- 報告1 東京2020パラリンピック大会水泳競技の結果について
- 報告2 2021年度事業の進捗状況報告（2022年1月まで）について
- 報告3 2022年2～3月の事業見直しについて
- 報告4 2022年度の日程の概要について
- 報告5 令和3年度公益財団法人日本パラスポーツ協会表彰について
- 報告6 スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査関係について

(5) 臨時総会

2022年2月20日（日）本連盟本部事務所

<報告事項>

- 報告1 2021年度収支補正予算について
- 報告2 2022年度事業計画について
- 報告3 2022年度収支予算について
- 報告4 東京2020パラリンピック大会水泳競技の結果について

<決議事項>

- 第1号議案 定款一部変更について

4. 常務理事会・運営委員会

2021年4月21日(水)	常務理事会
2021年5月10日(月)	常務理事会
2021年6月10日(木)	常務理事会
2021年6月27日(日)	運営委員会
2021年7月14日(水)	運営委員会
2021年8月18日(水)	運営委員会
2021年9月22日(水)	運営委員会
2021年10月20日(水)	運営委員会
2021年11月10日(水)	運営委員会
2021年12月22日(木)	運営委員会
2022年1月20日(木)	運営委員会
2022年2月3日(木)	運営委員会
2022年3月17日(木)	運営委員会

5. 各種委員会

2021年4月7日(水)	役員候補者選考委員会
2021年5月4日(火)	女性アスリート等支援委員会
2021年5月10日(月)	JSCアスリート助成推薦選手選考委員会
2021年5月13日(木)	役員候補者選考委員会
2021年6月26日(土)	アスリート委員会
2021年6月27日(日)	危機管理委員会
2021年6月27日(日)	ガバナンス・コンプライアンス委員会
2021年7月30日(金)	ガバナンス・コンプライアンス委員会(メール報告)
2021年11月17日(水)	アスリート委員会
2021年12月29日(水)	国際大会強化指定選手選考委員会・育成指定選手選考委員会(電子メールによる合意)
2022年1月12日(水)	女性アスリート等支援委員会
2022年1月19日(水)	アンチ・ドーピング委員会
2022年1月19日(水)	アスリート委員会
2022年1月20日(木)	マデイラ 2022WPS 世界選手権大会日本代表役員選考委員会
2022年2月11日(金)	JPC専任スタッフ選考委員会
2022年2月12日(土)	杭州2022アジアパラゲームス水泳競技日本代表推薦役員選考委員会
2022年3月6日(日)	マデイラ 2022WPS 世界選手権大会日本代表役員選考委員会
2022年3月17日(木)	JPC専任スタッフ選考委員会